

2022年7月7日

報道各社 御中

2022 春季生活闘争 第4回(最終)集計結果について

平素より連合熊本の諸活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2022 春季生活闘争につきまして、熊本県内の賃上げに関する第4回目(最終)の集計を行いましたので、結果を報告いたします。

【概要】 賃上げ活況で賃上げの水準はコロナ禍前を上回る！

○全国では中小組合の健闘ぶりが示される！

平均賃金方式で回答を引き出した4,944組合の「定昇相当込み賃上げ計」は、加重平均で6,004円・2.07%（昨年同時期比824円増・0.29ポイント増）、うち300人未満の中小組合3,596組合は、4,843円・1.96%（同555円増・0.23ポイント増）となった。

賃上げ分が明確に分かる2,213組合の「賃上げ分」は1,864円・0.63%、うち中小組合1,376組合は1,772円・0.72%となり、前回集計の水準を上回るとともに、すべての規模区分で昨年同時期比プラスになっている。中小組合は額・率とも第7回回答集計時点においてもなお、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降で最も高く、中小組合の健闘ぶりを示している。

○熊本県では率で全国平均を上回る状況で、妥結組合数も昨年比で大幅増加！

熊本県全体の賃上げ額は5,774円・2.15%（昨年同期比+1,354円・0.45ポイント増）となり、昨年比で大幅増となった。特に、300人以上の組合では、金額、率ともに全国平均を上回る結果であり、全体では3年ぶりに2%を超えるなど、コロナ禍前の2019闘争を超える水準での結果となった。また、賃上げが明確に分かる組合の集計では、300人未満の組合は、昨年に引き続き率では、300人以上の組合とほぼ同じ水準となっており、中小組合の健闘がみられる。コロナ禍にあっても、中小組合の賃上げの流れは継続していると判断できる。また業種別では、大手製造業と商業流通を中心に賃上げがなされ、全体を上げた。妥結組合数は昨年の60組合から12組合増加の72組合となった。

○賃上げを実施した組合は、72組合中44組合(61.1%)で、昨年の2倍以上！

最終集計においても、自動車産業や半導体製造装置といった製造業と流通大手を中心に、大幅な賃上げが報告されており、報告のあった6割以上の組合で賃上げが実施されるという状況。さらに、賃上げ額、組合数ともに昨年を上回っている状況である。

最終評価については、これから機関会議を経て取りまとめることになるが、労働組合が社会を動かしていく「けん引役」として、一定の役割（未組織労働者の賃上げ、及びこれから始まる最低賃金の審議などに対する世論喚起）を果たすことができたと受け止める。

以上

【集計組合数の内訳】

業種	製造業	商業流通	交通運輸	サービス ホテル	情報 出版	金融 保険	公務	その他	計
報告数	47	7	10	1	0	0	0	7	72

《 問合せ 》 連合熊本:副事務局長 猿渡 研一

TEL:096-375-3811



2022春季生活闘争 賃上げ回答集計【最終】

2022年7月6日現在

全国集計		組合員数による加重平均					
平均賃金方式	2022回答 (2022年7月5日公表)			昨年対比	2021回答 (2021年7月5日公表)		
	組合数	定昇相当分込み賃上げ計			組合数	定昇相当分込み賃上げ計	
	組合員数	額	率		組合員数	額	率
		4,944 組合 2,710,296 人	6,004 円		2.07 %	824 円 0.29 ポイント	4,772 組合 2,504,540 人
300人未満	3,596 組合 340,095 人	4,843 円	1.96 %	555 円 0.23 ポイント	3,553 組合 328,682 人	4,288 円	1.73 %
300人以上	1,348 組合 2,370,201 人	6,183 円	2.09 %	862 円 0.30 ポイント	1,219 組合 2,175,858 人	5,321 円	1.79 %

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

熊本集計		組合員数による加重平均					
平均賃金方式	2022回答 (2022年7月7日公表)			昨年対比	2021回答 (2021年7月7日公表)		
	組合数	定昇相当分込み賃上げ計			組合数	定昇相当分込み賃上げ計	
	組合員数	額	率		組合員数	額	率
		72 組合 17,556 人	5,774 円		2.15 %	1,354 円 0.45 ポイント	60 組合 12,455 人
300人未満	53 組合 5,923 人	4,688 円	1.94 %	648 円 0.24 ポイント	46 組合 5,085 人	4,040 円	1.70 %
300人以上	19 組合 11,633 人	6,566 円	2.32 %	1,892 円 0.63 ポイント	14 組合 7,370 人	4,674 円	1.69 %

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計 (熊本集計)

平均賃金方式	2022回答 (組合員数による加重平均)					【参考：前年同期】2021回答 (組合員数による加重平均)				
	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分		組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	
	組合員数					組合員数				
	44 組合	額(円)	6,223	4,203	1,843	19 組合	額(円)	4,528	3,135	1,432
	13,023 人	率(%)	2.33	1.57	0.74	3,873 人	率(%)	1.72	1.22	0.56
300人未満	29 組合	額(円)	5,561	3,934	1,608	15 組合	額(円)	4,381	3,326	1,258
	3,402 人	率(%)	2.28	1.58	0.70	1,895 人	率(%)	1.82	1.39	0.54
300人以上	15 組合	額(円)	6,589	4,352	1,927	4 組合	額(円)	4,662	2,959	1,600
	9,621 人	率(%)	2.36	1.57	0.76	1,978 人	率(%)	1.64	1.05	0.58

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

<7月7日集計結果について>

【全国集計】

平均賃金方式で回答を引き出した4,944組合の「定昇相当分込み賃上げ計」は、加重平均で6,004円・2.07%（昨年同時期比824円増・0.29ポイント増）、うち300人未満の中小組合3,596組合は4,843円・1.96%（同555円増・0.23ポイント増）となった。賃上げ分が明確に分かる2,213組合の「賃上げ分」は1,864円・0.63%、うち中小組合1,376組合は1,772円・0.72%となり、前回集計の水準を上回るとともに、すべての規模区分で昨年同時期比プラスになっている。中小組合は額・率とも第7回回答集計時点においてもなお、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降で最も高く、中小組合の健闘ぶりを示している。

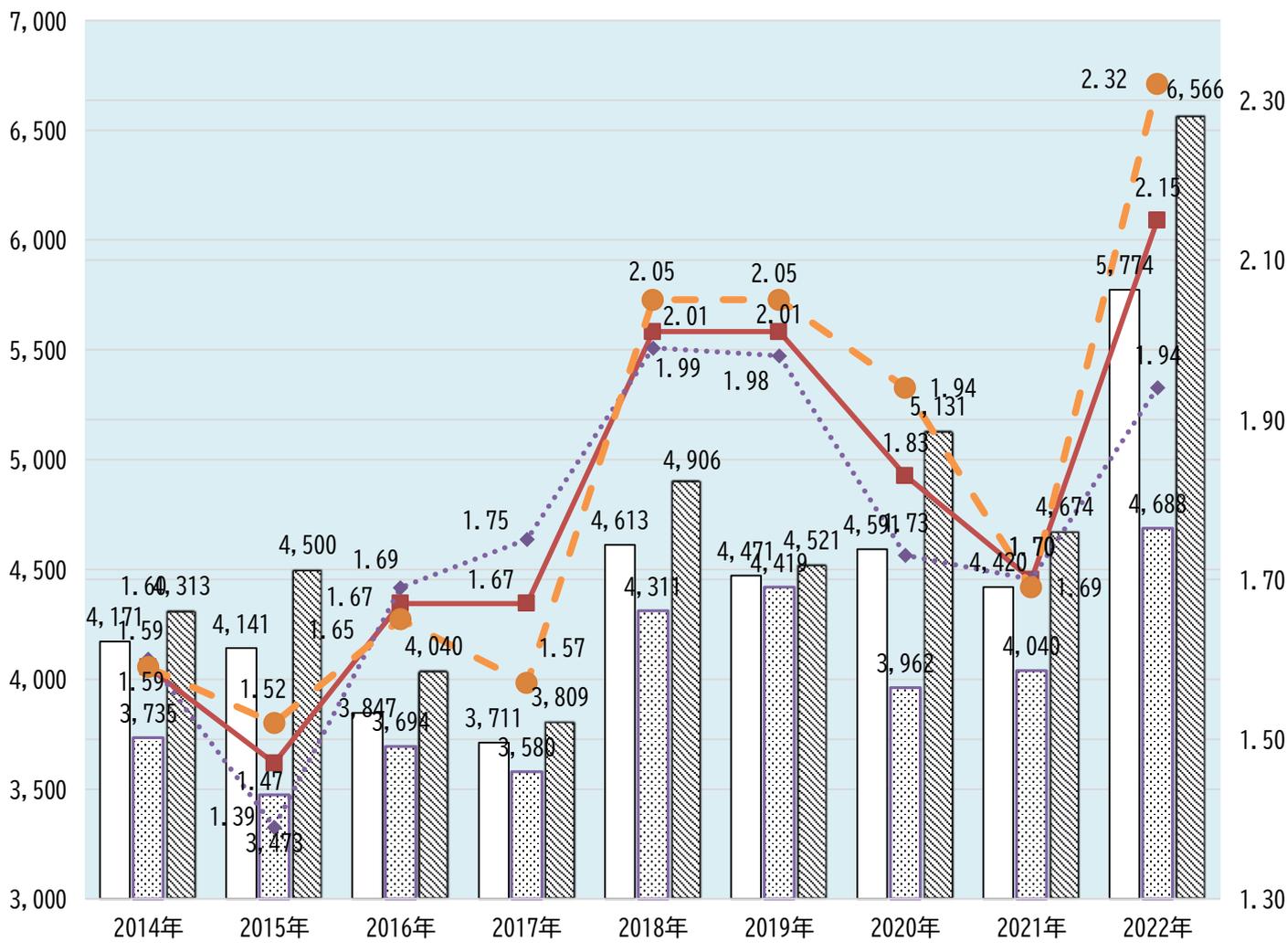
【熊本集計】

熊本県内の賃上げ額は、5,774円・2.15%（昨年比1,354円増・0.45ポイント増）と、昨年に比べ大幅増となった。特に、300人以上の組合では、金額、率ともに全国平均を上回る結果であり、全体では3年ぶりに2%を超えるなど、コロナ禍前の2019闘争を超える水準での結果となった。また、賃上げが明確に分かる組合の集計では、300人未満の組合は、昨年に引き続き率では、300人以上の組合とほぼ同じ水準となっており、中小組合の健闘がみられる。コロナ禍にあっても、中小組合の賃上げの流れは継続していると判断できる。また業種別では、大手製造業と商業流通を中心に賃上げがなされ、全体を引上げた。

以上

連合熊本 春季生活闘争 回答・妥結 2014~2022

熊本県全体
 300人未満
 300人以上
 ■ 熊本県全体
 ◆ 300人未満
 ● 300人以上



消費税8%

熊本地震

消費税10%

コロナ禍

コロナ禍

コロナ再拡大

2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年

熊本集計		額 (円)	4,171	4,141	3,847	3,711	4,613	4,471	4,591	4,420	5,774
		率 (%)	1.59	1.47	1.67	1.67	2.01	2.01	1.83	1.70	2.15
300人未満	額 (円)	3,735	3,473	3,694	3,580	4,311	4,419	3,962	4,040	4,688	
	率 (%)	1.60	1.39	1.69	1.75	1.99	1.98	1.73	1.70	1.94	
300人以上	額 (円)	4,313	4,500	4,040	3,809	4,906	4,521	5,131	4,674	6,566	
	率 (%)	1.59	1.52	1.65	1.57	2.05	2.05	1.94	1.69	2.32	